

共同執筆のすすめ！

過去5年間、共同執筆の論文は90%近い高入賞率です。提出キャンセルは0編。今応募を迷われている方には、「共同執筆」での応募をお勧めします！



注) 共同執筆は3名を限度としています。

審査委員の皆さんも人間だもの…。読んで印象の良い論文には、ついつい、加点してしまうかもしれません。

印象の良い論文とは、正しく読みやすい文章で記述されている論文です。

- ① 主語と述語、文頭と文末の対応が取れているか
- ② 文体は統一されているか(「である調」が原則)
- ③ 誤字脱字、語句の誤用は無いか

①②③は一例です。

今年度は、審査委員の皆さんと同じ視点でご自分の論文をチェックして頂くために、セルフチェックシート(裏面)を作りました。

セルフチェックには、やはり、1人より2人、2人より3人のほうが有利なはずです。

※応募いただいた論文は、会員の皆さまで構成された論文審査委員会で査読を重ね、2月下旬に審査結果を公表します。

共同執筆の利点

①論文設計・章立てを決めて分担できる

・1人で16,000字は書けない。では、「**2人なら1人8,000字**」或いは「**3人なら1人5,333字**」と考えるといかがでしょうか？

②締切マイルストーンをお互いに設定する

・中間発表となる期日をお互いに設定します。すると、相手に迷惑をかけまいと頑張れるはずです！

③お互いの文章を添削・評価・分析

・自分の文章の欠点、癖、誤字などは気付かないことが多いもの。お互いの文章をチェックしあうことで、かなり細かい校正ができます！

④分かち合うことで、苦労半減、喜び倍増

・論文執筆には苦労はつきもの。でも、共同執筆ならば、相棒が頑張っていると思うと苦労は半減し、入賞した時の喜びは倍増します！

【セルフチェックシート】

No.	審査基準「独創性/進取性」の具体的な視点	チェック	メモ
1	常識・習慣・慣例を打破し、改革や革新を促進する内容であるか		
2	独自の考え方で成り立っているか		
3	新たな発想や技術・手法が取り入れられているか		
4	システム構築・導入事例について、システム構築・導入の役割・課題・要件、設計・開発時の考慮事項、構築・導入結果などに対する評価や考察があるか		
5	単なる思い付きやアイデアではなく現実的な発想や技術・手法か		
6	発想や技術・手法について事例等に基づき体系的に述べられているか		
7	提案事項について、他の案との比較や移行過程に関する記述があるか		
No.	審査基準「適用性/有効性」の具体的な視点	チェック	メモ
1	他の会員企業にも適用できるか(適用範囲の広さ)		
2	広い範囲に影響を与えられるか、または期待できるか(影響範囲の広さ)		
3	適用することで効果があるか、または期待できるか(効果の高さ)		
4	自社のシステム構築・導入事例について、他の会員企業や他分野で適用する際の考慮事項に関する記述があるか		
5	単なる思い付きやアイデアではなく現実的な効果や有効性が認められる		
6	効果や有効性について実証データに基づき体系的に述べられているか (効果や有効性が定量的な裏付けを持って論証されているか、定性的な論証に留まっていないか)		
7	提案事項について、他の案との効果比較や移行措置を含めた費用対効果に関する記述があるか		
No.	審査基準「構成力/表現力」の具体的な視点	チェック	メモ
1	明確な主張や考察があるか(事実だけを述べた単なる報告書になっていないか)		
2	論旨は明確か(何が言いたいのか解からない論文になっていないか)		
3	論文の表題(タイトル)を見れば何を論じた文章であるかがわかるようになっているか		
4	論文の表題(タイトル)に対して本文の記述不足はないか		
5	要約を読めば、論文の目的(課題)、結論、本文の論理展開の概要が、予めわかるようになっているか		
6	論理の展開は適切か		
6-1	論理に矛盾は無いか		
6-2	論理に飛躍は無いか		
6-3	章立／段落の構成は適切か(論理展開とマッチしているか)		
6-4	目次を見れば論理展開がわかるようになっているか		
7	自社以外、専門分野以外の人が論文の読者層であることを想定した内容・表現になっているか(読者層を考慮した脚注／注釈／参考文献となっているか)		
8	文字数は制限範囲内か		
9	正しく読みやすい文章で記述されているか		
9-1	主語と述語、文頭と文末の対応が取れているか		
9-2	文体は統一されているか(「である調」が原則)		
9-3	誤字脱字、語句の誤用は無いか		
10	図表数、図表の使い方は適切か(必要最小限の数で本文の補足として使われているか)		
11	専門用語や略語、業界特有の用語・略語には過不足なく注釈がつけられているか		
12	他の文献からの引用部分は明示されているか		

※ このチェックシートは、現在の審査の具体的な視点を抽出したものです。審査委員はこういう視点で論文を審査するということを知り、同じ視点でご自分の論文をチェックしてみてください。